

■和宮(静寛院宮・親子内親王) 公武合体策の犠牲となって徳川家茂に降嫁するも、徳川家存続や無血開城に尽力した。

かずのみや

孝明天皇・1846= 生。仁孝天皇の第8皇女，孝明天皇の皇妹。母は権大納言橋本実久の娘典侍経子。名は親子。

尊徳報徳論・1851= 5歳：有栖川宮熾仁親王と婚約したが，

ペリー来航・1853= 7歳：

安政大地震・1855= 9歳：

日米修好通商条約の勅許問題や，将軍継嗣問題によって悪化した朝幕関係を融和するために，

桜田門外変・1860=14歳：\_徳川家茂へ降嫁するように幕府より求められた。孝明天皇は有栖川宮との婚約，幼少などを理由に拒絶したが，この問題を朝権の回復の足がかりとしようとする岩倉具視の献策をいれて，攘夷鎖国の実行を条件に降嫁を勅許した。和宮は強く固辞したが，周囲の説得に抗しきれず，これを受けいれ，

遣欧使節・1861=15歳：江戸城に入り，

生麦事件・1862=16歳：\*婚儀がおこなわれ，御台所と称した。

8月18日政変 1863=17歳：

禁門の変・1864=18歳：\_上洛直前の家茂に対して，攘夷を実行するように求めるなど，自らの使命を自覚して実行。

薩長同盟・1866=20歳：\*第二次幕長戦争(長州征伐)の渦中，家茂は大坂城で死去したため，薙髪し静寛院と称した。

明治維新・1868=22歳：\*戊辰戦争に際しては，徳川家救済や，征東軍の江戸進撃の猶予を政府に嘆願，

戊辰戦争終・1869=23歳：\*徳川家の駿府移封を待って，京都賀茂川東の聖護院内栄御殿に移住，

明治6年政変 1873=27歳：

佐賀の乱・1874=28歳：再び東京に移住，家茂の眠る増上寺目前の麻布の地に邸を賜って，起居する。

西南戦争・1877=31歳：脚気療養のため，箱根に転地したが，衝心が起こり，\_没した。  
「静寛院宮御日記」がある。